

平成30年度 学校評価〔保護者評価〕集計結果 (北海道上士幌高等学校)

評価基準 4:十分である 3:概ね十分である 2:やや不十分である 1:不十分である E:よく分からない

[在籍数167 回収数111 回収率66%]

分野・領域	評価項目	達成状況(人)					平均	意見・要望
		4	3	2	1	E		
学習指導 3.09	個に応じた学習指導を行い、基礎・基本の定着を図っている	27	51	9	1	22	3.18	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣がなくテスト前しか勉強していなかった。もう少し宿題があってもよいと思う。 ・授業についていけない場合の対応がどうなっているのか分からない。小テストなどしているのか。 ・補習の時間が足りないように感じる。定期考査の前にプレテストで個々の学力を把握して学力向上を図ってはどうか。
	生徒の特性や進路希望に応じた学習指導により、学力の向上を図っている	27	56	7	4	17	3.13	
	課題等で生徒の家庭学習の習慣化を図り、生徒が自主的に学ぶ力を育てようとしている	17	60	18	1	15	2.97	
生徒指導 3.13	日常的に行動観察や面談、カウンセリング等を通じて生徒理解に努めている。	26	49	16	3	17	3.04	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中できない生徒が少なくない。生徒の自主性が育たなければ協力し合うことも難しいのではないか。高校生らしい態度を身につけさせなければ成長は難しいと感じる。 ・クラス内の協調性があまり感じられない。生徒の意見や気持ちを理解しようとしている姿勢があまり伝わってこない。学校からの情報も少ないと感じる ・難しさを抱えた生徒ばかりに目が向いて、自己表現が乏しい生徒への対応が手薄になっているように感じる。 ・もっと生徒の意見を聞いた方がよいと感じる。世間知らずの生徒が増えていることもあり、もっと真剣に向き合ってほしい。 ・教員の目が届かないところで心配な面がある。心を育てることが必要だと思う。 ・身だしなみ指導が不徹底のように感じる。
	日常的に挨拶指導や身だしなみ指導を継続して行っている	37	56	8	0	10	3.29	
	生徒会行事や部活動を通して、生徒が主体的に行動できる力を育てようとしている	31	57	10	1	13	3.19	
	集団の一員として責任を果たし、互いに協力して助け合う姿勢を育てようとしている	23	63	10	2	14	3.09	
	巡回、面談、アンケート調査等を行い、いじめの未然防止や早期発見に努めている	21	53	15	2	21	3.02	
進路指導 3.23	面談等で自己理解を深めさせ、能力や適性に応じた進路目標を設定するよう指導している	26	58	9	1	16	3.16	<ul style="list-style-type: none"> ・各種検定は合格者が発表されるので、受験者が分かれば不合格者も分かることになり、受験意欲の妨げになっている。合格者発表のマイナス面も考慮してもらえたらありがたい。
	社会人講話、模擬面接、職業体験(インターシップ)等を通じ、キャリア教育を進めている	31	56	7	1	15	3.23	
	各種検定・資格取得を奨励し、キャリアアップを促進している	36	63	5	0	6	3.30	
健康安全指導 3.19	生と性に関わる講話やボランティア活動の奨励等、生徒の健全な心身の育成に努めている	27	58	7	1	19	3.19	
	避難訓練や薬物乱用防止講話、交通安全講話を通じ、防災・防犯・安全教育に努めている	29	60	9	1	13	3.18	
	日常の清掃活動や委員会活動を通じ、公共心や環境保全の意識を涵養している。	25	64	3	2	15	3.19	
地域に開かれた学校づくり 3.33	町の関係機関と連携した教育活動や公開授業により開かれた学校づくりに力を入れている	47	52	3	0	8	3.43	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事について保護者宛の文書等で周知してはどうか。 ・HPの更新が少ないように感じる。 ・スマホでHPを見ると見づらい。
	各通信の発行やホームページの更新等により、保護者や地域へ適度に情報を発信している	35	56	9	2	8	3.22	